

巻 末 資 料

- ・ボ ー リ ン グ 柱 状 図
- ・ボ ー リ ン グ コ ア 写 真
- ・試料分析結果データシート
- ・現 場 作 業 写 真

ボーリング柱状図

地名名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-1

孔 番号：No.1

孔口標高：E.L. 3.00m

底層深度：E.L. -30.00m

本柱状図の深度：E.L. 0.00-3.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 号	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
0.10		表土	極細粒砂ー 細砂中程度まで	灰褐色	マトリックスに混じる。	
1.00		粘土	中ー細粒まじり 細粒砂 ー極細粒砂	灰うす茶色	角状不良 層 { Max. 30×20mm Ave. 4×3mm 基内硬土ー円礫	
1.11			中ー細粒極少量まじり 中ー極細砂	濃茶色	マトリックス混多し。 角状やや不良。	210-215年代サンプル
1.75			中程度まで 中ー極細砂	濃茶色	角状不良 層 { Max. 10×6mm Ave. 3×2mm 基内硬土	
2.00		中程度まで 中ー細粒砂	茶褐色	マトリックス混多 角状不良 層 { Max. 30×20mm Ave. 5×3mm 基内硬土	220-240年代サンプル	
2.40		極細粒砂 ー細しき 泥質細粒砂	茶	上方ほど細粒化する。 細粒中には中礫 (10×6mm) も混じる。 沙は並ーやや不良 泥が多い。	250-260年代サンプル	
2.50		極細粒砂ー細しき	赤褐色	250cm付近に中礫 (8×6mm) みられる。	260-320までつづく	
2.67		中ー細粒砂	褐色おびる 上位ほど濃い。 濃灰	上位ほど細粒化する。 細粒が中混じるが、下位ほど多くなる。		
3.00						

備 考：

地区名：大分市大野川河口付近（大野川大橋）

No.1-2

孔番：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：G. -30.00m

本柱状部の深径：G. 3.00～6.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
1.00			中礫 (10×5mm) 点在 中～粗粒砂	黄褐色 II やや黄灰色	淘汰量～やや不良 Max10×5mm Ave5×4mm 層内～角礫	
3.21 3.28			中礫まじり粗粒砂～細粒砂	黄褐色 ほとんどゴマシイ状	淘汰量～やや不良 Max10×5mm Ave5×4mm 層内～角礫	
3.30			中礫まじり 粗粒砂～細粒砂	黄灰色	下位ほど粒粒 348cm以降は中礫多。 326～348淘汰量～やや不良。 (348～370) 層 { 最大20×12mm Ave7×5mm 層内～角礫 348～370cm 淘汰不良	370-375年代サンプル 370-654 貝殻小片点在
4.00			砂質シルト	黄灰色	375～379: 細礫～粗粒砂混じる 淘汰量 ほぼ均質	380-385 貝サンプル
5.00						
5.27						500-527 サンプル欠
6.00			砂質シルト	黄灰色	527～588生産 粗粒砂、中礫 (10mm大) が柱状に入る。 淘汰量 ほぼ均質 579: 火山灰らしきものあり。(黄灰色) 580: 加大貝殻片か?	580-585 貝サンプル

備考:

地 域 名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-3

孔 番：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -20.00m

本柱状図の深度：EL. 0.00-9.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取材料(化石、炭化物等)
0.00	[柱状図]		砂質シルト	黄灰色	海抜高 610cmに深具鏡片点在	630-635 貝サンプル
0.50					630cm以深位からやや砂質がつよくなるか。 632, 635, 640-650 貝殻大型片有	
0.50	[柱状図]	A	泥漚じり火山灰	黄灰色	650-660アカホヤ上部の 有火山灰に泥砂混じる。堆積層は薄状。	アカホヤは再産種
0.70			大山灰まじり砂質シルト	灰色	上層は泥砂がある。砂質シルト主体で火山灰が混じる。 細粒の貝殻片らしきものあり。	680-685 貝サンプル
0.70	[柱状図]	A	泥漚じり火山灰	黄灰色	678境界 15° 傾斜 680位置	680-685 貝サンプル
0.75				やや暗黄灰色	720-760 細いラミナ有（水中） やや砂質か？ 727 産産	
0.75	[柱状図]	A	泥漚じり火山灰	黄灰色	760-771 産産 770-775 ラミナ有（ほぼ水平）	760-765 貝サンプル
0.80				前後より細粒、火山灰	黄灰色	
0.80	[柱状図]	A	泥漚じり火山灰	黄灰色	830-845 ラミナ（水平、平行ラミナ）やや明 瞭	830-835 貝サンプル
0.85				やや褐色かする	黄灰色	
0.90	[柱状図]	A			884-900 ボヤケていて、構造不明	880-885 貝サンプル

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-4

孔 番：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深さ：EL. 9.90-12.00m

深さ (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料(土石、炭化物等)
9.00		アカホヤ	泥漉じり火山灰	黒灰色	900-903 クロスラミナ有 900-917 ラミナ有 917-940 無層理	930-935 員サンプル
9.51			泥-細粒砂まじり火山灰 礫石(細礫)まじり火山灰	灰色 灰色	細かいラミナ有 (mm大粒石片一部存在) 礫石(7) (細粒大-細粒砂大) 認められる。	970-975 員サンプル
10.00			粗粒砂まじり中粒砂	黒灰色	濁状並-やや良。 一部粗粒砂大粒子存在。 全体的にやや上方細粒化か。	1020-1025 員サンプル
11.00	1070-1075 員サンプル					
11.68	1120-1125 員サンプル					
11.68	1170-1175 員サンプル					
12.00			中粒砂	黒灰色	層理的变化、上方細粒化か、... 水系 一部粗粒砂大粒子まじる 濁状並-やや良 1180-1221 顕上方細粒化的	

備 考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-5

孔番：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深度：EL. 12.00～15.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層相	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
12.00			中粒砂	濃灰色	一部粗粒砂大粒子まじる。 濁状並～やや良。	1220-1225 具 サンプル
12.21			粗粒砂多し		最下部1215-1221 粗粒砂多し。 上位との境 漸移的 1221～1225位まで粗粒砂多し。	
13.00			中粒砂	濃灰的	全体的に上方細粒化的。 濁状並～やや良。 粗粒砂大粒子点在。	1270-1275 具 サンプル
13.50					1350～1387 粗粒砂多く入る。	1320-1325 具 サンプル
13.87					境 やや不明瞭	
14.00			中粒砂～細粒砂	濃灰色	1410付近より下位は下位ほど粗粒砂多くなる。 全体として上方細粒化的 濁状並～やや良	1420-1425 具 サンプル
14.85			中粒砂	濃灰色	1450-1465 粗粒砂多い 境やや不明瞭 1465-1475 粗粒砂多い	1470-1475 具 サンプル
14.90					1480～1490 粗粒砂多し。 境界 やや不明瞭	1490-1495 までつづく
15.00						

備考欄

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-6

孔 番号：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深度：EL. 15.00～18.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)	
15.00			中粒～細粒砂	濃灰色	1590～1673にかけては、 中粒砂から極細粒砂がみられるが、 全体として、上方細粒化を示している。 全体に細粒砂大粒子が散在している。 濁は中～やや良。	1520-1525 貝サンプル	
16.00					1670-1675 貝サンプル		
16.33					1670-1675 貝サンプル		
16.73			中粒砂～細粒砂	濃灰色	1618-1622付近 粗粒～極細粒砂 (一部は軽石か)が多くまじっている。 1669貝殻 (二枚貝) 片 1668付近から下方では極細粒砂～細粒大のもの (一部軽石か)が多く入る。	1670-1675 貝サンプル	
17.00			中粒砂～細粒砂	濃灰色	全体として上方細粒化している。 全体にサリが混ざりもみ。 濁は良	1680付近から極細粒砂が多くなり、上位とは 漸移的に変化し、境界はみられない。 1700～1725は粗粒～極細粒砂が多くなり、境界不明瞭	1720-1725 貝サンプル
17.02			中粒砂～細粒砂	濃灰色	1702～1725付近までサリが混ざりもみ。 濁は中～やや不良	1728 貝殻片有 1730～1744 極細粒砂多くなる。一部は軽石。 濁は中～やや不良	1730-1735 貝サンプル
17.44	中粒砂～細粒砂	濃灰色	全体として上方細粒化傾向を示す。 1744～1752 サリが混ざりもみ 濁は中～やや不良	1768-1770 極細粒砂 (軽石) まじる。 1773, 1775 貝殻片有。 1773-1790 サリが混ざりもみ	1770-1775 貝サンプル		
18.00	中～大礫	濃灰色	・1744～1817は一斗(斗) ・概75cm以上入る。	1790-1817までつづく			

備

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

地1-7

孔番：No.1

孔口標高：EL. 3.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深度：EL. 18.00-21.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料 (土石、炭化物等)	
18.00			中〜大礫	濃灰色	横 (Max 10cm Ave 25×20mm 透戸礫主) ツムリ、ウツロAF土 40%程度 等 明礫	1820-1825 頁サンプル	
18.17			中粒砂〜細礫	濃灰色	1817〜1825付近：近質細〜中粒砂 1825付近〜1840付近：近質 細粒砂まじり中粒砂 に含粒度変化は漸移しており境界はない。 全体として、71%がは泥がち。又全体として 上方細粒化傾向を有す。濁は急〜やや不長		
18.48			細粒砂まじり 近質中粒砂	泥灰色	1840〜1848 中粒まじり細粒砂 中礫 (及 2.0mm 未満、厚砂礫) 透戸礫	1848〜1850付近は 細粒〜中粒砂 全体に細粒〜極細粒砂大 粒子が散在する 71%がは泥がち。 全体に上方細粒化か？	1870-1875 頁サンプル
18.92					貝殻の片点在 1910-1915 土層 (サンド/パイプ)	1920-1925 頁サンプル	
19.00				濃灰	全体的にほぼ均質	1970-1975 頁サンプル	
20.00			シルト			2020-2025 頁サンプル	
21.00					2045 茶色薄片 (材か?)	2070-2075 頁サンプル	

頁

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-6

孔番：5m1

孔口標高：EL. 2.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深度：EL. 21.00～24.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
21.00			シルト～砂質シルト		2100以上は、やや砂質になる。 2100～2200 貝殻微小片点在	2120-2125 貝サンプル
2138 砂小片 2142 砂片						
2159 砂小片						
濃灰色					全体にはば均質	2170-2175 貝サンプル
2222 砂小片						
2241 砂片						
2245-2250					わづらひ (年代)	
2250-2255					わづらひ (年代)	
2258-2262までつづく						
22.50						細～中粒
23.00		シルト質～砂質火山灰	ややうす層から 戻層がかった うすい灰青色 濃茶とまだら になる	全体にかなり多く、 細～中粒砂がまじるシルト質火山灰 2300より上位は、 色が上位ほど茶～濃茶が濃くなる。		
23.44			灰青色			
23.49			やや濃茶がまじる 濃緑色	2344-2349 やや粗粒 (中粒砂大) 物多し。 2350付近から2365付近は粘土質多い。		
24.00			灰緑色	2385～2442 一部粘土質部あるが、 粗粒物 (中粒砂大) が下位ほど多い。		

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.1-9

孔番：No.1

孔口標高：EL. 2.00m

掘進深度：EL. -30.00m

本柱状図の深度：EL. 24.00-27.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料 (土石、炭化物等)	
24.00			シルト質-砂質火山灰	ややうすく濃黄 かかる泥灰緑色	2442-2444 褐色 (酸化) を呈する。 2442-2470 付近 粘まじり粘土質火山灰	2445-2450 (年代サンプル)	
24.42				泥灰緑をおびる 濃茶色 稀 色			
				泥灰緑色	2475-2514 砂質が多くなる。 砂質火山灰 下位ほどより砂質になる。		2485-2500 (年代サンプル)
25.00				ややうすく黄 がかる 泥灰緑色			
25.14				泥灰緑色	2519 炭化物片 有 2514-2520 シルト質		
			やや濃めの 泥灰緑色	2520 付近より砂質になり、 下位ほどより砂質で粗粒化する。			
25.42			中粒-粗粒砂	ややつやみ輝砂 か ス黒砂色	濁法良-やや不良 細礫まじる	不整合	
25.82			砂質礫	濃灰色	110付近に泥-細粒砂が多い。 礫 Max20×15mm Ave10×8mm 基円-円礫 濁法不良		
26.00			粘まじり細粒砂	ややうすく黄 がかる泥色	110付近に泥多し。 粗粒砂、大粒子まじる		
26.08			中粘まじり 中粒-粗粒砂	濃灰色	塊に中礫 (20×15mm) 入る。 上位から下位へ、中粒砂、粗粒砂、極粗粒砂と 推移的に変化する。 上方細粒化を示す。 2640付近より下位は、中礫が多く入る。 礫 (Max45×20mm Ave12×10mm 基円-円礫)		
26.50			砂質礫	濃灰色	中礫の入る 粗粒砂-細礫からなる。下位ほど 粗粒になる 上粒細粒化を示す。 礫Max40×20mm 濁法不良		
26.73		大分層群					
27.00							

地 区 名 : 大分市大野川川口付近 (大野川大橋)

地 図 号 : 地 1-10

孔 番 : No. 1

孔口標高 : EL. 3.00m

掘進深度 : EL. -30.00m

本柱状図の深度 : EL. 27.00-30.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料 (土石、炭化物等)		
27.00			中一大層	青灰緑色 (硬) 濃灰色 (7H/13)	大礫 (20mm+) や中礫 (50mm+) が散在し、その間を充満じりの細粒砂がうめっている。 礫種安山岩が多いほほ同 Max 200mm+ Avs 25 × 30mm 長円-円盤 実状は非常に悪い			
28.21					砂質シルト	やや濃灰色	炭化物がラミナ状に入る (ほぼ水平0-1°) 2822-2825, 2829-2832はやや砂が多い、 平行ラミナや弱いのみみられる	
28.35					中粒砂-粗粒砂	濃灰色~黒 全体にやや緑がかる	中粒-粗粒砂で上位ほど細粒物質が多く、 上方細粒化傾向を示す。 全体にラミナは弱い。(ほぼ水平) 実状はやや悪い。 2877付近より粗粒砂多くなり、 細礫-中礫 (8-9mm+) が存在する。	
28.87					中粒砂-粗粒砂	全体にやや緑がかる 濃灰色~黒	中粒砂主体で所々に細礫存在。 2900以降はやや粗粒砂が多くなり、 全体として上方細粒化を示す? 下層は、明確で波をうっている。 粒径がラミナと異なる「赤土」。	境表不明瞭
29.00			炭質細粒砂	やや濃い灰色	全体として炭質細粒砂とシルト-粘土が、 ラミナ状に互層し、 その間に炭化物がラミナ状に入る。 下位側の方がやや粗粒砂多くなるか			
29.23					炭質細粒砂	濃茶がかった 濃灰色	2951-2952 細粒砂その中に5mm次のシルト片 や炭化物片が入る。 2958-2965 炭質細粒砂とシルトが入り 混れて入る 2969-2977 細粒砂とシルトが入り 混れて入る。(炭化物も入る。) 全体としては、シルトに細粒砂 が不規則な形ではさまこまれている。	
29.57					砂質シルト-シルト	濃茶がかった 濃灰色	炭化物ラミナ状に入る 粒いラミナ有。	
29.87					炭質細粒砂	炭質細粒砂		
30.00								

備 考 :

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-1

孔 番：No.2

孔口標高：EL

掘進深度：EL. -55.00m

本柱状図の深度：EL. 0.00-3.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
0.00		埋土	中礫点石 泥混り中～粗粒砂	黄土色ばい濁茶	礫 Max(80×40mm) Ave(25×15mm) 基内～内礫主体 花崗岩、頁岩、安山岩、石英etc 淘洗不具	
1.00			中礫主体 泥混り砂質礫層	茶褐色 一部赤褐色がみ	30～40mmの中礫(角～歪角礫)が目立ちその 間を細礫、細粒砂が充填している。 粘土ではないか。 淘洗不具	
1.80			中粒砂混り砂質礫層	茶褐色～ やや濃茶	204 礫(40mm) 全体にかなり砂がらな粘土 淘洗不具	
2.00			泥混り中粒砂	茶～濃茶	表下部に内礫(30mm)有 泥がかなり多く混じる。 淘洗やや不具	
2.50						
3.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-2

孔番号：No.2

孔口標高：E.

掘進深度：E. -55.00m

本柱状図の深度：E. 3.00-6.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、異生物等)
3.00			中礫混り泥混り 中粒～細粒砂	黄～茶褐色	海江やや不良～不良 3.35以下 細粒砂多	
3.45					赤褐色がみ	
4.00			中礫混り粗粒砂	やや鈍がかる 茶褐色	礫 Max25×25mm 径VE10×20mm 圓形礫主体 安山岩、頁岩、石英etc 海浜不良	
4.60			砂質シルト～ 泥質細粒砂	緑灰色	460-465 砂質シルト 下位細粒砂へ漸移的に変化する。 上方細粒化傾向を示す。 境界やや不明瞭	
4.65					上方細粒化傾向 下位は粗粒砂混じる。	
5.00					境界不明瞭 粗粒砂がレンズ状に挟まる。	
5.07					境界不明瞭	
5.22					境界不明瞭	
5.32					532-535 砂質シルト 下位で漸移的に細粒砂へ変化する。 塊状 上方細粒化傾向を示す。 562 礫石 (20mm大) 有 565 炭質物ラミネーションに入る。 弱いラミネーション(水平)	
5.42			砂質シルト～ 泥質細粒砂	やや鈍がかる 緑灰色	砂質シルトで下位へ漸移的に細粒砂へ変化する。 上方細粒化傾向を示す。	562-537まで続く
6.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-3

孔番：No.2

孔口標高：EL.

掘進深度：GL. -55.00m

本柱状図の深度：GL. 6.00-9.00m

深度 [m]	柱状図	地層区分	層 様	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
6.00					600-610 泥質	682-937まで続く
					615-630 泥質 全体に貝殻小片散在	
					640付近 貝片多	
					650付近 泥質	
					680付近 泥質	
7.00				やや硬めの 暗灰色	700-715 泥質	
			泥溜り細粒砂～細粒砂	～	721 鉄質物ヲミナ状に入る	
				砂質部が やや硬がる	740-755 泥質	
					775-785 泥質	
8.00					815-835 泥質	
				850-900 泥質		
9.00						

備考：

地 区 名 : 大分市大野川川口付近 (大野川大橋)

No.2-4

孔 番 : No. 2

孔口標高 : EL.

掘進深度 : GL. -55.00m

本柱状図の深度 : GL. 9.00-12.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 相	色 調	注 意	採取試料 (化石、異物等)
9.00					905 礫石片 (10mm大) 915-920 やや泥質 918 砂片 異物小片散在 930 礫石塊 (10mm大) 950-990 やや泥質 960 礫石塊 (5mm大)	500-817まで続く
10.00					1000-1030 やや泥質 1012 貝 境界不明瞭	
10.37			火山灰混り 一部泥混り細砂	やや湿めの灰色	全体に異物小片散在 上位の方が泥質 境界不明瞭	
11.00			火山灰混り 細砂～中粒砂	灰色	上位が一部泥質 境界不明瞭	
11.12			火山灰混り 砂質シルト～シルト	一部泥混り 灰色	炭質物点 境界やや不明瞭	
11.50						1180-1200まで続く
11.80						
12.00						

備 考 :

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-5

孔番：No.2

孔口標高：EL.

掘進深度：EL. -55.00m

本柱状図の深度：EL. 12.00～15.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
12.00			肥後県火山灰質 砂質シルト～中粒砂	灰色	上方締結化傾向を示す。 1232 軽石径10mm大 最下部3mmは細砂と認められる。 境界やや不明瞭	
12.38			火山灰質砂質シルト	灰色	1265 炭質物入る 境界やや不明瞭	
12.71			火山灰質砂質シルト ～細粒砂	灰色	全体に塊状 1300-1350付近 やや肥後 1332 炭質物入る 1350-1355 ラミナ状に炭質物入る。 1400-1430付近 やや肥後 1440-1480 ラミナ状に炭質物入る。	
13.00						
14.00						
15.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

地2-5

孔番：No. 2

孔口標高：EL.

掘進深度：EL. -55.00m

本柱状図の深度：EL. 15.00～18.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
15.00		アカホヤ	火山灰質砂質シルト	灰色	全体的に炭質物微小片散在	
17.00					1700-1745付近 ボヤケてはいるが乱れている。 層状化か	
18.00					1750-1780付近 ボヤケているが乱れている。 1780付近 やや砂質的	

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）


No.2-7

孔 番号：No. 2

孔口標高：E.L.

掘進深度：E.L. -55.00m

本柱状図の深度：E.L. 18.00～21.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
18.00			火山灰質砂質シルト	灰色	1882-1890：より砂質になる。 細いラミナ有(水平) 1890-1891：中粒砂	
18.91			シルト～砂質シルト	緑灰色	1845-1860 貝、貝小片多在 1860-2000 やや砂質 2000-2100 中粒砂質粘土存在。一部礫石、石英 2025-2040 やや砂質、貝小片多	
19.00						
20.00						
21.00						

備 考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-8

孔番：No.2

孔口標高：E1

標高深度：E1 -55.00m

本柱状図の深度：E1. 21.00～24.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)	
21.00			砂混りシルト～シルト質砂 (中粒～粗粒砂)	緑灰色	2097以下 中粒～粗粒砂の粒子が多く混じる。 (礫石もある)		
21.85					2190-2195：かなり粗粒物質 (中粒砂～粗粒砂が多くなる)		
22.00			泥質細粒土	緑灰色	塊状 貝殻小片点在 2200付近：中～粗粒砂混じる。		海浜やや不良
20.45					境界不明瞭		海浜不良
20.30	泥質中粒～粗粒砂	緑灰色	貝片多数	海浜不良			
22.88			泥質中粒砂	緑灰色	海浜不良 全体に粗粒砂も少し混じる。一部はかなり泥がち	2280-2284まで続く	
22.00					2280-2286付近はかなり泥がち。		
24.00			シルト～砂質シルト	暗灰色	2313-2325 中粒砂混じる。 2330 炭質物ラミナ状に入る。 2358-2380付近 砂質 全体的にシルトがらの所と砂質がらの所がみられる。貝片点在 塊状	2384-2384まで続く	



地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

地2-9

孔番：No. 2

孔口標高：EL.

掘進深度：GL. -55.00m

本柱状図の深度：GL. 24.00～27.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
24.00						
25.00			シルト～砂質シルト	暗灰色	貝片点在 2520-2530 : やや砂質	
26.00					2640 炭質物有 2660-2690 : やや砂質	
27.00						2290-2394まで続く

備

地 区 名 : 大分市大野川(川口付近 (大野川大橋))

No.2-10

孔 番 : No. 2

孔口標高 : EL.

掘進深度 : EL. -55.00m

本柱状図の深度 : EL. 27.00~30.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料 (化石、炭化物等)
27.00			シルト-砂質シルト	緑灰色	全体に貝小片点在 2775 : 炭質物等 2765 : 大型貝片 2790-2810 : やや砂質	
28.00					2835-2855 : やや砂質 2842 : 炭質物入る。	
29.00					2905-2940付近 : やや砂質 2915付近 : 中粒砂混じる。	
30.00					2960-2985 : やや砂質	2200-2294まで掘く

備 考 :

地 区 名 : 大分市大野川川口付近 (大野川大橋)

No.2-11

孔 番 : No. 2

孔口標高 : EL

掘進深度 : 計. -55.00m

本柱状図の深度: 計. 20.00-22.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 種	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
20.00			砂質シルト		軽石七部入る 全体に中粒砂大粒子散在する。 3055-3085 : 中粒砂多く混じる。炭質物点在。	
21.00				緑灰色	3100付近より色がやや薄めになる。 [→火山灰が多く混じるのか?] 下位ほどより砂質で粗粒になる。	
22.00					3200-3225付近 : 一部緑褐色になる。	
22.04			シルト質細粒砂 〜中粒砂	やや濃めの 緑灰色	層相変遷漸移的境界不明 3260-3284 : 中粒砂多し。 境界不明瞭	
22.00			火山灰混り砂質シルト	薄茶を帯びる灰色 緑灰色	境 状	3284-3295まで続く

備 考 :

地 区 名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-12

孔 番：No. 2

孔口標高：EJ.

掘進深度：EJ. -55.00m

本柱状図の深度：EJ. 33.00～36.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 相	色 調	注 事	採取試料(化石、炭化物等)
33.00			火山灰混り砂質シルト	ややこげ茶ぎみの 緑灰色	全体にボヤけているがラミナ乱れている。	3304-3325まで続く
33.25			シルト質～砂質火山灰	薄茶～こげ茶 やや緑状	軽いうミナがみられる。(緑状を呈する)が やや乱れている 下位ほど粒粒となりこの部分(3325-3343)は 上方緑化傾向を示す。	
33.63			火山灰	一部白緑	最下部：中粒砂大粒子多	
33.68			シルト～砂質シルト	緑灰色～黒	塊状 炭質物質混る。 3308-3450は、全体に上方緑化を示す。	
34.00					砂質シルトと泥質砂との境界は、漸移的であり、不明	
34.50			泥質中粒砂	灰	炭質物質混る。 境界やや不明瞭	
35.00			砂質層	暗褐色～やや茶 を帯びる濃い灰色	Max70μm大、4es25×10mm 基円～五角稜主体 樹種、空山岩、石英、結晶片等etc 淘洗不良 境界やや不明瞭	
35.44			一部泥混り中粒砂	緑灰色	全体ほぼ一様 淘洗量	
35.46			砂質シルト～細粒砂	緑灰色	シルト層に比べみられる	
35.50			泥混り中粒砂	緑灰色	ほぼ均一、淘洗量	
35.52		泥混り中粒砂	緑灰色	層にラミナ		
35.53		泥混り中粒砂	緑灰色	層に泥がラミナ状に入る		
35.61		砂質シルト～細粒砂	緑灰色	層にラミナ		
35.62		泥混り中粒砂	緑灰色	層に泥がラミナ状に入る		
35.76		砂質シルト～細粒砂	緑灰色	層にラミナ		
35.78		泥混り中粒砂	緑灰色	層に泥がラミナ状に入る		
36.00					3570-3610まで続く	

備 考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

編2-13

孔番：No. 2

孔口標高：E1

掘進深度：E1-55.00m

本柱状図の深度：E1.36.00-39.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記号	採取試料(化石、炭化物等)			
36.00 36.10			砂質礫	緑灰色	礫 Max70mm+ Ave22×10mm 一部円礫 歪円～歪角礫主体 安山岩、石英、結晶片岩etc 淘洗不良 中礫主体 r1/r2比混濁り 中粒～粗粒砂				
37.00							砂質礫	緑灰色	礫 Max70mm+ Ave25×10mm 一部円礫 歪円～歪角礫主体 安山岩、石英、結晶片岩、頁岩etc 淘洗不良 r1/r2比混濁り 中粒～粗粒砂 中礫主体
37.21									
37.89 38.00									

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-14

孔番：No.2

孔口標高：EL

掘進深度：GL -55.00m

本柱状図の深度：GL 39.00-42.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
39.00			砂質礫	緑灰色	礫 Max100mm+ Ave25×10mm 一部内礫 基岩～基岩層主体 安山岩、石英、結晶片岩、頁岩etc 層状不具 11分付2層目より 中粒～粗粒砂	
40.00						
41.00						
41.82						
42.00						4182-4202まで続く

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-15

孔 番：No. 2

孔口標高：E1

掘進深度：GL. -55.00

本柱状図の深度：E1. 42.00～45.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 相	色 調	記 事	採取試料(土石、炭化物等)	
42.00			砂質シルト～シルト	緑灰色	塊状 貝殻小片が点在	4192-4292まで続く	
42.40-4250：やや砂質 4260-4270：やや砂質					境界不明瞭		
42.92 43.00				泥漉り～泥質細粒砂	緑灰色	塊状	境界不明瞭
43.70						全体に4411に泥が多く入る。 下位ほど粗粒になり、中粒砂が多く入る。	
44.00			中粒砂混り砂質シルト～シルト質砂	緑灰色	4388：軽石(1cm大)	境界不明瞭	
44.20			泥漉り～泥質細粒砂混り中粒砂	緑灰色	全体に海浜不具 所々に粗粒砂～細粒が混じる形がみられる。 粗粒砂～細粒中には軽石が多くみられる。		4420-4500まで続く
45.00							

備考：

地 区 名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-16

孔 番：No. 2

孔口標高：EL

標高深度：EL. -55.00m

本柱状図の深度：EL. 45.00～48.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 相	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
45.00			泥漉り泥質 粗粒砂漉り中粒砂	暗灰色	全体に海況不良 層々に粗粒砂～細砂が混在する。 粗粒砂から細砂中には軽石が入る。	4420-4560まで続く
45.60			泥漉り軽石漉り 中粒～粗粒砂	暗灰色	境界不明瞭 下部に軽石 (10mm～15mm) が入る。 全体的にも軽石が混在している。 上方に細粒化しているようにも見える。 海況不良	境界不明瞭
45.85			一部泥漉り軽石漉り 中粒～粗粒砂	暗灰色	下部や粗粒物に軽石が目立つ。 全体的にも軽石が入る。 海況不良	境界不明瞭
46.20			軽石漉り中粒～粗粒砂	暗灰色	最下部に中粒 (10mm) 軽石が入る。 境界やや不明瞭	境界不明瞭
46.48			細砂漉り粗粒～ 極粗粒砂	暗灰色	細砂漉り 海況不良 やや軽石が少ない 境界やや不明瞭	境界不明瞭
46.60			軽石質粗粒砂～細砂	グレー的	軽石多く入る。 海況不良 境界やや不明瞭	境界不明瞭
46.71			軽石漉り～軽石質 粗粒砂	グレー的	一部細砂混じる。粗粒物の中には軽石が多い。 境界不明瞭	境界不明瞭
46.92			軽石漉り粗粒砂～細砂	暗灰色～ グレー的	海況不良 粗粒物に軽石多い。 4715-4720付近：中粒入る。	境界不明瞭
47.30			砂質シルト～シルト質砂 泥漉り中粒砂	暗灰色	炭化物ラミナ状に入る。 境界不明瞭	境界不明瞭
47.34				暗灰色	7/15に混入る。 境界不明瞭	境界不明瞭
47.40			細砂漉り 軽石質粗粒砂	グレー的	全体に海況不良。 軽石多い。 10/17 (3mm) 入る。 境界不明瞭	境界不明瞭
47.62			細砂漉り軽石漉り～ 軽石質中粒～粗粒砂		軽石多く入る。 海況不良 境界不明瞭	境界不明瞭
47.85						境界不明瞭
48.00						

備 考

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

M5-17

孔番：No. 5

孔口標高：El. 3.00m

掘進深度：El. -47.00m

本柱状図の深度：El. 48.00-51.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層名	色調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
48.00			砂質シルトー 泥質細粒砂	暗灰色	一部火山灰質物質が入る。又細粒砂がレンズ状に挟まる所もある。全体に気泡はあまり良くなく、泥質物も点在している。 最下部細粒砂	
48.20					4820-4885：やや砂質 4845：泥質物有 4848：軽石か？ 4855：貝片有 全体に気泡はあまり良くなく、軽石が一部にみられ、泥質物や貝片が点在している。 4900以下：やや砂質一砂質 4920：軽石(35mm大)有 4980：軽石(7mm大)有 軽石(20mm大)有 5075：貝片 5080-5100：やや泥質	
49.00			砂質シルトー 泥質細粒砂	暗灰色		
51.00						

備考：

地区名：大分市大野川川口付近（大野川大橋）

No.2-15

孔 番号：No. 2

孔口標高：E.L.

掘進深度：Q.L. -55.00m

本柱状図の深度：Q.L. 51.00—54.00m

深度 (m)	柱状図	地層区分	層 名	色 調	記 事	採取試料(化石、炭化物等)
51.00			砂質礫	灰緑色	礫 Max80×45mm Ave15×12mm 歪角～歪円礫 礫種 安山岩、石英、結晶片岩etc 淘洗不良	
51.18			火山灰質泥溜り中粒砂	灰緑色	一部粘塊混じる。 かなり締まりがいい。	
51.38			砂質礫	灰緑色	礫 Max22×8mm Ave6×4mm 歪角～歪円礫主 礫種 安山岩、石英、結晶片岩etc 淘洗不良	
51.46			火山灰質泥溜り			
51.47			溜り火山灰質泥溜り中粒砂		一部ウミナみられる。 礫 石英、安山岩etc(2～8mm大) かなり締まりがいい。	
52.00					境界不明瞭	
52.20			中粒溜り火山灰質泥質細粒～中粒砂	灰緑色	中粒 500-600に多く入る。 他は点在 礫 Max85×50mm Ave25×18mm 歪円礫主 安山岩、石英、頁岩etc 淘洗不良 かなり締まりがいい。	
52.42					境界やや不明瞭	
52.62			砂質礫	灰緑色 やや黄がかる	礫 Max25×20mm Ave6×4mm 歪角～歪円礫主 安山岩、石英、頁岩etc 淘洗不良 砂質部では平行ウミナみられる。	
52.82			泥質中粒砂	灰緑色	一部硬点在 淘洗やや不良 かなり締まりがいい。	
52.97					境界やや不明瞭	
53.00			砂質礫	灰緑色	礫 Max50×20mm Ave12×8mm 歪角～歪円礫主 安山岩、石英、結晶片岩etc 淘洗不良	
53.40		細粒溜り泥質細粒～中粒砂	やや黄がかる 薄めの暗灰色	細粒(2～5mm大)点在 淘洗やや不良 かなり締まりがいい。		
53.70				境界やや不明瞭		
53.80		砂質礫	灰緑色～ やや濃い灰色	礫 Max22×15mm Ave6×2mm 歪角～歪円礫 安山岩、石英etc 淘洗不良		
54.00				境界やや不明瞭	5380-5500まで続く	

備考：

